

金融経済教育に係る講師派遣(出張授業)の概要等

講師派遣(出張授業)①講座

- 全国の企業や学校等に、所定の審査を通過したJ-FLEC講師を派遣し、金融経済に関する出張授業(無料)を行っています。
- 講師派遣では、「金融リテラシー・マップ」に沿って、年齢層別に最低限身に付けるべき金融リテラシー(お金に関する知識・判断力)を習得する研修・授業を実施します。講義内容や講義時間(45分～)については、講義テーマに応じて事前調整することが可能です。

年齢層	講師派遣で学べる主な内容(例)
小学生 (低・中・高学年)	「おこづかいから学ぶお金の話」※ おこづかいの使い方、貯め方、お金の流れ・トラブルの事例などを学びます。
中学生・ 高校生	「大人になる前に知っておきたいお金の話」※ 収支管理の基本、お金の貯め方のコツ、資産形成と経済活動の関係性、クレジット・奨学金の仕組みと注意点、金融トラブルの防止などを学びます。
大学生・ 若手社会人 (10代-20代)	「社会人として知っておきたいお金の話」 家計管理や給与明細の見方、資産形成の基本(長期・積立・分散)や支援制度(NISAなど)、社会保険と民間保険、クレジット、奨学金、金融トラブルの防止などを学びます。
中堅社会人 (30代-40代)	「将来に向けて知っておきたいお金の話」 家計の現状把握から外部知見(お金の専門家)の活用を通じた将来設計・資産形成の考え方、社会保険と民間保険、各種ローン、金融トラブルの防止などを学びます。
ベテラン社会人 (50代以上)	「リタイア前後に知っておきたいお金の話」 定年退職後の生活を見据えた年金などの社会保険、退職金、税金の仕組みのほか、資産寿命の延伸、相続・贈与・終活の概要などを学びます。
シニア層 (60代以上)	「豊かな老後のために知っておきたいお金の話」 セカンドライフを有意義かつ快適なものとするために知っておきたい資産寿命の延伸やそのために活用できる制度、終活のポイント、贈与・相続の基本、外部知見の活用などを学びます。



「講座」の申込み

実施希望日の45日前までに
J-FLECホームページ
講師派遣(出張授業)へ入力



上記から、講義で使用する
「標準講義資料」も
ご確認いただけます。

- ※ アクティブラーニング教材を用いた講義も実施可能です(小学校中学年以上推奨)。
- ※ 特別支援学校向け、教員向けにも研修・授業を実施しています。

講師派遣(出張授業)②おこづかいゲーム(栃木県オリジナル)



【おこづかいゲーム】(小学4～6年生向け)

- サイコロを振って出た目のカードを引き、カードの内容に合わせておこづかい帳を記入していくゲームです。
- 自分で考えて行動し、おこづかい帳に記入しながら、お金の出し入れをきちんと管理することについて学びます。
- 必要なもの(ニーズ)と欲しいもの(ウォンツ)の違いを理解し、正しい金銭感覚を身に付けます。

〈ゲームの様子〉



栃木県金融広報委員会 おこづかいゲームをやってみよう♪

◆おこづかい帳をつけて、お金の出し入れをきちんと管理しましょう。
◆お買い物をする時のお金の使い方をよく考えましょう。
◆すぐ使わないお金はどうするか?よく考えましょう。

＜カードの種類＞

- ★ニーズ 「必要なもの」必ず買わなくてはならない
- ★ウォンツ 「ほしい物」買うか?買わないか?自分で考えてパスもできる
- ★どっきり 自分の不注意やアクシデントでお金やポイントが減ってしまう
- ★チャレンジ お手伝いをするとおこづかいがもらえる(ジェスチャーをする)
- ★ハッピー エコ・小さな親切で「ポイント」をゲット!
- ★ラッキー 思わぬところでおこづかいやポイントがもらえる

＜ゲームすすめ方＞

- ①お買い物リストから買いたい物を選ぶ(目標設定)
- ②前月のおこづかいの残り 2000円を進行役より受け取る
- ③今月のおこづかい 1000円を進行役より受け取る
- ④5～6人を1グループとして順番にサイコロをふりカードを引く
- ⑤1回りしたら、<買いたい物→お店へ><預金をしたい→銀行へ>
- ⑥「翌月」となり、③～⑤の繰り返し
- ⑦4～5周する(進行によって回数は適宜)
- ⑧最後に、買い物・預金・引出し自由にできる(何もなくてもOK)
- ⑨ゲームのまとめ、各グループ代表者の感想発表

「おこづかいゲーム」の申込み

実施希望日の2ヶ月前の月10日までに
別紙2を「栃木県金融広報委員会」へ
メール(または郵送)で提出

■ゲーム実施の条件

所要時間

90分 (休憩時間を除く。)

事前準備

- ・参加者のグループ分け
- ・机や椅子などの会場準備
- ・ゲーム用紙への氏名等の記入
(ゲーム用紙は実施日の約1ヶ月前に送付します。)

※ お願い

- ・ゲームの補助者として、**教職員等を2名必ず配置**してください。
- ・**ゲーム実施会場**について、講師複数名がゲームの準備を開始30分前から行うため、ランチルーム等**教室以外**の手配をお願いします。

申込みから講師派遣までの流れ等

01 お申し込み

- ①講座
J-FLECホームページの「講師派遣(出張授業)申込フォーム」からご希望の開催日時や受講者の年齢層などの必要事項を入力のうえお申し込みください。
- ②おこづかいゲーム
別紙2により
栃木県金融広報委員会へ
メール・郵送でお申し込みください。

02 J-FLECから 申込者へのご連絡

J-FLECにてご希望の開催日時に派遣可能な講師を選定し、ご連絡します。

- ※ 原則として実施日の3か月前から講師の選定を開始します。また、選定には1か月程度を要する場合がございますので、早期の選定希望がある場合は余裕をもってお申し込みのうえ、申込フォームの「その他要望欄」にその旨を記載ください。
- ※ J-FLECと共催でのセミナー・イベント開催をご希望の場合は、お問い合わせフォームからご連絡ください。
- ※ 講義内容や開催形式に関して特筆すべきご要望がある場合は、申込フォームの「その他要望欄」に記載ください。

03 講義内容に関する 講師との打ち合わせ

講師が申込者のご意向をヒアリングし、講義内容を調整いたします。

04 講師派遣の実施

講師派遣当日、講師がご指定の会場・方法で講義を行います。

05 アンケート提出

講師派遣終了後1週間以内にアンケートのご入力・ご提出をお願いします。

注意事項

- ◆ 講師派遣希望日の45日前までにお申し込みください。
- ◆ 個社の営業活動やその他収益を得ることを目的とした活動への派遣依頼はお受けできません。
- ◆ J-FLECの講師派遣では、「金融リテラシー・マップ」に沿った内容での講義を行います。「金融リテラシー・マップ」から逸脱するテーマでの依頼や、特定の内容に極端に特化したテーマでの依頼はお受けできません。
※「金融リテラシー・マップ」から逸脱するテーマ、特定の内容に極端に特化したテーマとは、例えば次のような特定の制度やキーワードのみを取り上げる講義などのことを指します。(例)扶養控除、キャッシュレス決済サービス、ふるさと納税、確定申告、デジタル終活、実家じまいなど
- ◆ 受講者数は原則として10人以上です。
- ◆ 会場・機材、オンラインで実施する場合のコミュニケーションツールの手配や参加者に紙で講義資料を配付する場合の印刷は、申込者において費用負担のうえ行ってください。
- ◆ 講師派遣の実施に関する書面のやり取り(押印を含む)はお受けいたしかねますので、ご了承ください。
- ◆ 台風や地震などの自然災害、講師の急病、その他やむを得ない事由により、講師を予定どおり派遣できない場合があります。
- ◆ 講師派遣に関連して生じた損害などについて、J-FLECに故意または重大な過失がある場合を除き、J-FLECは一切の責任を負いません。
- ◆ ご不明点がございましたら、J-FLECホームページに掲載している「講師派遣(出張授業)申込者向けガイド」をご確認いただくか、下記窓口までメール又は電話でご照会ください(本連絡先での講師派遣のお申込みは原則としてお受けできません。障がいなどの理由により申込フォームへの入力に困難な方に限り、電話でのお申込み受付をいたします。)。 J-FLEC 講師派遣事務局 <jf-koushi@dsicontact.jp/050-3538-5773>

(参考)金融リテラシー・マップ

- 「最低限身に付けるべき金融リテラシー」を、年齢層別に、体系的かつ具体的に記したものです。
- 「最低限身に付けるべき金融リテラシー」の内容は、「家計管理」、「生活設計」、「金融知識及び金融経済事情の理解と適切な金融商品の利用選択」および「外部の知見の適切な活用」の4分野に分かれます。

(金融リテラシー・マップ<イメージ図>)

分野	分類	小学生	中学生	高校生	大学生	社会人	高齢者	
家計管理	家計管理	分野別・年齢層別に体系的かつ具体的に記載						
生活設計	生活設計							
金融知識及び金融経済事情の理解と適切な金融商品の利用選択	金融取引の基本としての素養							
	金融分野共通							
	保険商品							
	ローン・クレジット							
	資産形成商品							
外部の知見の適切な活用	外部の知見の適切な活用							

【具体的な内容の例】

1 小学生向けの内容

- 必要なもの(ニーズ)と欲しいもの(ウォンツ)を区別し、計画を立てて買い物ができる。
- 困ったときにはすぐに身近な人に相談する態度を身に付ける。

2 高校生向けの内容

- 職業選択と生活設計を関連付けて考え、生涯の収支内容を理解して生活設計を立てる。
- お金や金融・経済の機能・役割を把握するとともに、預金、株式、債券、投資信託、保険など基本的な金融商品の内容を理解する。
- トラブルに対処できる具体的方法を学び、実際に行使できる技能を身に付ける。

3 社会人向けの内容

- 金融商品を含む様々な販売・勧誘行為に適用される法令や制度を理解し、慎重な契約締結など、適切な対応を行うことができる。
- 金融商品の特性(流動性・安全性・収益性)とリスク管理の方法を理解する。自らの生活設計の中で、どのように資産形成をしていくかを考える。
- 金融商品を利用する際に相談等ができる適切な機関等を把握する必要があることを認識している。

(注)小学生は、マップ本体では「低学年」「中学年」「高学年」に区分されますが、ここでは簡略化。

(出所)金融経済教育推進会議「金融リテラシーマップ『最低限身に付けるべき金融リテラシー』の項目別・年齢層別スタンダード(2023年6月改訂版)」